

2026 年 7 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 SBI 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 川島克哉
(コード番号:8303 東証プライム市場)

中間配当の導入に伴う配当予想の修正に関するお知らせ

株式会社 SBI 新生銀行(本社:東京都中央区、代表取締役社長:川島克哉、以下「当行」)は、本日、下記のとおり、2026 年 5 月 1 日に公表した配当予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間配当の導入及びその理由

当行は、株主還元の方針として、利益成長を通じた1株あたり配当金の増加を目指しております。昨年の再上場以来、株主数が顕著に増加しており、財務の健全性や成長投資に向けた内部留保とのバランスに応じて、機動的に株主還元を充実させていく一環として、今期(2027 年 3 月期)より中間配当および期末配当の年 2 回、剰余金の配当を実施することといたしました。なお、当行の定款においては、取締役会の決議によって毎年 9 月 30 日を基準日として、中間配当を行うことができる旨を定めております。

2. 配当予想

2026 年 5 月 1 日に公表いたしました 2027 年 3 月期の配当予想につきましては、中間配当の導入に伴い、中間配当予想を 10 円に修正いたします。

当期の業績につきましては、当第1四半期においても順調に推移しており、今後も引き続き着実な拡大を見込んでおります。こうした業績進捗を踏まえ、年間配当金については前期配当実績である 1 株当たり 42 円以上の水準を目指します。一方、具体的な期末配当金は、今後の業績動向および資本の状況等を総合的に勘案しながら決定することとし、期末配当予想および年間配当予想については、現時点で「未定」といたします。

	年間配当金(円)		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (2026 年 5 月 1 日公表)			42 円 00 銭
今回修正予想	10 円 00 銭	未定	未定 (42 円 00 銭以上)
(参考)前期実績 (2026 年 3 月期)		42 円 00 銭	42 円 00 銭

- (注1) 中間配当は、2026 年 9 月 30 日を基準日とする株主名簿に記載または記録された株主の皆さまを対象といたします。また、中間配当の配当支払開始日及び配当金につきましては、2026 年 11 月に予定されている取締役会で正式に決定する予定です。
- (注2) 2027 年 3 月期の期末配当の配当支払開始日及び配当金につきましては、年度末決算に関する取締役会で正式に決定する予定です。

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部

報道機関のみなさま SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp

投資家のみなさま SBIShinsei_IR@sbishinseibank.co.jp